

DAIGO

— 議会だより —

2025年

8月号

NO.222

ようこそ！議場へ



未来のまちを考える第一歩

Contents

2-3P 令和7年第2回定例会
4-9P 令和7年度子ども議会
10-11P 議員活動報告します
12-13P 常任委員会研修視察

14P ^{とき} あん議会の質問は今？！
15-23P 一般質問
24P 「わくわくわたしの夢」

令和7年8月5日発行
茨城県大子町議会

令和7年 第2回定例会

**(仮称) まちなか防災スクウェアの
整備始まる**

令和7年第2回定例会が6月4日から12日までの9日間の会期で開催されました。

今回の議会では、(仮称) まちなか防災スクウェア整備工事(1工区) 報告のほか、定額減税補助金給付金、旧だいが保育園解体工事などを含む補正予算などの町長提出議案が7件、報告3件、議員提出議案1件が審議され、すべての議案が全会一致で可決されました。

一般質問では、8名の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。

そのほか、諸般の報告事項では、まちなかビジョン令和6年度末時点の進ちょく状況について(観光商工課) など担当課から報告がありました。



(仮称) 防災スクウェアイメージ図

(仮称) 防災スクウェアとは？

旧役場跡地に地域の防災拠点として整備を予定している施設のことです。災害時の避難場所や防災活動の拠点となるだけでなく、普段はイベント広場や交流の場としても活用される予定です。

一般会計補正予算(第2号)の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	△ 8 2 5 万円
県支出金	3 2 3 万円
繰入金	2 2 6 7 万円

歳 出	補 正 額
定額減税補足給付金(不足額給付分)	5 3 0 2 万円
中心市街地周辺駐車場整備工事	1 5 2 1 万円
新型コロナワクチン予防接種	8 1 9 万円

第2回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告3号	観光交流施設敷地造成工事変更請負契約の専決処分の報告について	報告済
報告4号	令和6年度大子町一般会計予算継続費繰越計算書の報告について	報告済
報告5号	令和6年度大子町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告済
報告6号	令和6年度大子町水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告済
議案第63号	(仮称) まちなか防災スクウェア整備工事(1工区) 請負契約の締結について	原案可決
議案第64号	し尿収集車の取得について	原案可決
議案第65号	消防ポンプ自動車の取得について	原案可決
議案第66号	町道路線の認定について	原案可決
議案第67号	令和7年度大子町一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第68号	令和7年度大子町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第69号	太陽光発電設備等設置工事請負契約の締結について	原案可決
議案第70号	観光交流施設建築工事請負契約の締結について	原案可決
議案第71号	小型マイクロバス(1号車)の取得について	原案可決
議案第72号	小型マイクロバス(2号車)の取得について	原案可決
議案第73号	小型マイクロバス(3号車)の取得について	原案可決
議案第74号	小型マイクロバス(4号車)の取得について	原案可決
議員提出 議案第2号	議員の派遣について	原案可決

第2回臨時会が4月10日に開催され、町長提出議案5件(うち報告1件)について、すべての議案が全会一致で可決されました。

第2回臨時会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告2号	水路改良工事変更請負契約の専決処分の報告について	報告済
議案第59号	大子町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第60号	大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第61号	令和6年度大子町一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第62号	令和7年度大子町一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議員提出 議案第1号	議員の派遣について	原案可決

『未来へつなごう、わたしたちの太子町』 ～ Your thoughts will change your future ～

(令和7年度太子町子ども議会テーマ)

令和7年6月27日に子ども議会が開催されました。
町内小中学校（7校）の各学校から2名の議員が選ばれ、「まちづくり」に関する質問や提言、「太子町子ども議会交付金事業」の計画発表や採決が実施されました。

議長団には、太子中学校から榊虎太郎議長と手塚悠月議長が選ばれ、スムーズな議事進行や採決など議長の大役を無事務め上げました。



榊虎太郎さん

手塚悠月さん



【議事日程】

- 日程第1** 令和7年度太子町子ども議会の日程について
- 日程第2** まちづくりに関する質問や提言
- 日程第3** 議案第1号「太子町子ども議会交付金事業」について

日程第1

議会の日程について

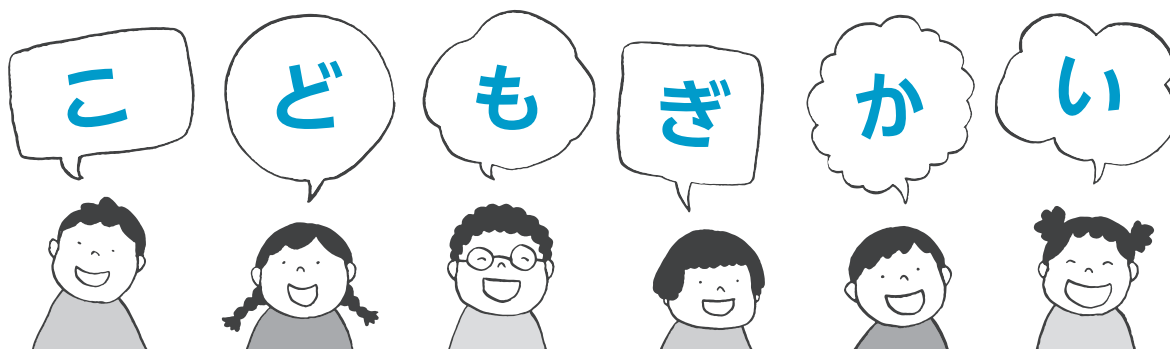
令和7年6月27日(金)

昨年まで4校あった中学校が令和7年度からは1校に統合され、14人となった子ども議員（各学校2名選出）で行うはじめての子ども議会となりました。閉会後には、当日応援で参加した生徒を含め参加者全員で写真撮影を行いました。

日程第2

子ども議員が思う「まちづくりに関する質問や提言」

議 員	質 問 ・ 提 言 の 内 容
1 (だいご小) さいとう 議 員 りお 涼 緒	■公共図書館の利用について 1. プチ・ソフィアの利用状況は？利用促進にはどのような取組をしているの？ 2. 図書・映像資料はどのくらいあるの？資料を取り寄せるサービスはあるの？ 3. 本について語りあうイベントを開催してみても？
2 (依上小) かさい 議 員 まりか 莉 花	■お祭りに代表される大子町の伝統行事の維持について 1. 大子町の伝統行事を守り継続していくためにはどのような取組や計画を考えているの？
3 (袋田小) きくちりのあ 議 員 きくちりのあ 菊池莉乃愛	■大子町の環境美化について 1. お祭りなどイベント後のゴミ拾い活動を実施してみても？ 2. 「ポイ捨て等防止条例」をFMラジオなどで広くPRしてみても？ 3. 「ポイ捨て等防止条例」のポスターや立て看板を設置してみても？
4 (さはら小) こいずみ 議 員 せな 小 泉 惺 成	■小学校の統廃合について 1. 将来的に小学校も統合になる具体的な計画はあるの？ ■八溝材の利用について 1. 八溝材を活用した巨大アスレチックを建設してはどうか！
5 (上小川小) かじいりおな 議 員 かじいりおな 梶井理緒奈	■南中の跡地利用についてどのように考えているのか？ 1. 南中学校跡地を利用して多世代型交流施設と体験型観光施設を併せ持つ複合施設を建設してはどうか！ ■人口減少対策について 1. 大子町としての人口減少対策はどのような取組をしているのか教えて！
6 (生瀬小) さいとう 議 員 さくら 齋 藤 咲 良	■環境整備について 1. ポイ捨て等防止条例の効果は？防止策に路肩へ四季折々の花を育てては？ ■「奥久慈憩いの森」へのアスレチックの設置 1. 町外PRと体力向上に奥久慈憩いの森へアスレチックの設置はどうか！
7 (大子中) かみなが 議 員 あおい 神 長 葵	■特色あるまちづくりについて 1. 中学生を対象とした選挙等の体験会を！また、町の議員や行政の仕事内容の知る機会を作って！ ■中学校の統合について 1. 大子中学校1校に統合となった良い点、悪い点は？ ■ICT教育について 1. 学習のデジタル化を進める理由は？



子ども議員からの質問や提言に対して、町（執行部）からこのような答弁がありました。

※一部を抜粋して掲載しています。

■図書館利用について

問 プチ・ソフィアの利用促進の取り組みは何ですか？

答 健康診査時の絵本配布や朝読運動、読み聞かせ活動を通じて幼少期から読書を推進しています。
また、ホームページでの情報更新や新着図書との連絡を行っています。 【教育委員会事務局】

■伝統行事の保存と継承について

問 大子町の伝統行事を守るための具体的な取り組みは何ですか？

答 屋台や山車の保管施設への補助金提供や「大子学」を通じた地域学習を推進し、伝統行事の保存と継続を支援しています。 【教育委員会事務局】

■ポイ捨て等防止条例の効果について

問 ポイ捨て等防止条例の効果は出ていますか？

答 量的な比較はないが、広報や情報案内板を通じて町民の理解が進んでいると考えています。今後とも周知を継続します。 【生活環境課】

■南中学校跡地の利活用について

問 南中学校跡地の活用計画は何ですか？

答 地域のニーズを踏まえ、利活用を検討中で、昨年度には学校の利用を希望する事業者を募集し、現地調査の機会をつくりました。今後も引き続き興味をもつ事業者と協議を進めます。 【まちづくり課】

■中学校統合のメリットについて

問 中学校統合による良い点は何ですか？

答 大規模な集団活動や部活動の充実、授業での対話機会の増加により、生徒の学びや人間関係が豊かになっています。 【教育委員会事務局】

■ICT教育の推進理由について

問 学習のデジタル化を進める理由は何ですか？

答 個別最適な学びの実現、効率的な情報共有、有事の際の学習環境確保などが挙げられます。アナログとデジタルのバランスを重視しています。 【教育委員会事務局】

■奥久慈憩いの森の施設整備について

問 奥久慈憩いの森にアスレチック施設を増やす提案についてどう考えますか？

答 魅力向上や町民の健康維持につながる素晴らしい提案であり、茨城県の施設であるため協力して検討を進めます。 【農林課】

日程第1

議案第1号

大子町子ども議会交付金事業とは

自分たちの住む地域の現状を調べて、地域が抱える課題を考え、自分たちにできることを話し合い、解決してもらうための費用です。

令和7年度交付金事業の総額は35万円で、各学校へ分配する金額を子ども議会で決定します。



A案

人数が多い学校も少ない学校も同じように金額を配ることを中心に考えた案
学校平等割65%
人数割35%

B案

児童生徒一人一人に同じように金額を配ることを中心に考えた案
学校平等割35%
人数割65%

「大子町子ども議会交付金事業」の活動計画と投票

順 番	投 票	活動計画
1 (大子中) なかやま りゅうしん 中山 龍真 議員	A	■地域とつながる～わたしたちのおやきプロジェクトから ・町の名産品「おやき」作りで地域交流を図り郷土愛を高めたい！
2 (だいが小) いしい ゆな 石井 結菜 議員	A	■読書活動の推進 ・低学年に読み聞かせ用大型本の購入とおすすめ本を紹介するポップを作る！
3 (依上小) さかきばら とあ 榊原 翔空 議員	A	■みんなでつくる未来の防災～依上を住みよいまちにするために～ ・自然災害から依上地域を守る防災活動を行う！
4 (袋田小) たかやす れいな 高安 玲菜 議員	A	■「ふるさと」ふくろだ”PR大作戦” ウェルカム大子”推進大作戦 part 8 ・プランターの花を配布し地域の人に感謝の気持ちを伝えたい！
5 (さはら小) とむら ゆうと 戸村 勇人 議員	A	■さはらのお茶を広めよう ・地元で製茶した「夢茶」を広めて地域経済の活性化に貢献したい！
6 (上小川小) おおたか ここね 大高 心響 議員	A	■保育園・高齢者福祉施設との交流 ・保育園児と高齢者で交流を行い地域課題への理解を深めたい！
7 (生瀬小) だいたう しんや 大藤 慎也 議員	A	■地域の自然を維持する活動～地域の方への報告と活動への参加～ ・クリーン作戦を実施し自然環境を自慢できる「ふるさと」づくりをする！

○投票の結果は・・・

A案が7票、B案が0票ということで、議案第1号は

「A案」に可決決定しました。



これにより各学校への交付金の額（35万円を分配する金額）が確定しました。

- ・だいが小 71,000 円
- ・袋田小 42,000 円
- ・上小川小 40,000 円
- ・大子中 82,000 円
- ・依上小 40,000 円
- ・さはら小 36,000 円
- ・生瀬小 39,000 円

議員が発表した学校ごとの活用計画を、令和7年度中に実施することになります！

議員からのひと言コメント～今日は傍聴席から～

傍聴席から子ども議員の発言を聴いていて、提言や視点など将来の太子町を担ってくれる頼もしさを感じました。

参加議員からひと言コメントです。

子どもたちが質問・提言をして議会を実際に体験することで、議会活動・市政の仕組みなどを身近に感じることができるととても良い機会であったと思う。子どもたちの発言・態度・臨む姿勢も大人と変わりなく立派であり、各小中学校生徒が関わることで地域ごとの課題も見えて、また、「選挙の投票の仕方などを知る機会がほしい」などの要望が出されるなど、子どもたちが「まちづくり」というものに社会の一員として関わる意識が高まる場でもあったと感じた。人口減・少子化社会と言われる世の中であるが、子どもたちからはこれからの太子町・そして世界で輝いていく人材へとなる未来への無限の可能性を感じる子ども議会であった。（介川秀男）

太子町内の小中学校の代表生徒が集まり、子ども議会が開催された。子どもたちの質問はどれも、自身の地区のみならず町全体の未来についてしっかり考え質問をおこなっていた。大人だけでなく子どもたちにも少子高齢化による町の衰退に不安を感じている様子が見て取れた。それでも、自分たちに何ができるかを考える確かな質問を投げかけおり、執行部も納得できるような回答を述べていたため大人顔負けの議会が開催されていると感じた。また、周辺の意見や、他でも問題となっている事象等を調べ上げたうえで質問内容が作られていると感じた。自分たちが住む町のことをしっかりと考えている子どもたちが多くいることは太子町にとって宝のような存在であると改めて思う。（高村和成）

太子町子ども議会は、16名の小中学生が議員として町に対して質問や提言をし、議長も務めました。町施設有効活用、伝統文化の継承、環境整備、地元産業、教育、未来の太子など幅広い分野の質問は、今太子町が抱えている問題であることに気づき町の考えを聞く姿は、将来の太子への夢と希望が感じられる内容でした。また、子ども議会交付金事業についての発言内容は、地域への感謝や貢献する気持ち目的がハッキリ示されていることに感銘を受けました。交付金の配分が採決により決定されましたので、有効に活用することを楽しみにしております。（根本厚子）

本を読むことで世の中の様々な知識を知ることができます。私ももっとたくさん読もうと思いました。リラックス出来る場所が良いですね。お祭りは賑やかで楽しい思い出がいつまでも記憶に残る行事です。文化継承を願う意気込みが伝わってきました。観光など町に訪れて頂ける方々を気持ち良くお迎え出来るように環境美化メンバーを結集して頑張ってみましょう。森林の町の象徴、木材の有効活用として、新たなアスレチックの整備も魅力的です。やみぞホテル内のバレルサウナは八溝材です。旧校舎の利活用はたくさんの方々が心配しています。良い管理者に使用していただきたいと思います。特色あるまちづくりの活性化へみんなが想う地域愛が深く伝わってきました。（飯村 剛）

日常生活の中で感じた課題や疑問点を、小中学生らしい発想でまとめられており、とても感心させられました。特に、さはら小の小泉惺成さんの太子町の産業の一つである八溝材に焦点を当てた質問は、的を得た内容（アスレチックによる活用等）であり、太子町の林産業の振興を図るうえで参考になる発言ではなかったかと思う。小泉さんの八溝材を思う素直な気持ちを感じた次第である。（須藤 明）

令和7年度太子町子ども議会における、「まちづくりに関する質問や提言」は、太子町の自然環境、伝統文化の保全、人口減少対策、小中学校の統合、図書館の利用、ICT教育等多岐にわたっており、町が進めている施策の必要性を問い、またその施策の有効な進め方、道筋なども提示していた。

これらの質問や提言は、太子町に対する深い愛情と冷静な現状認識、そして、それに基づいた具体的な提言となっており、非常に優れた構成内容であった。その中でも選挙に対する積極的な参加に向けた提言があった。私には、それが、未来の太子町を日本を切り開く光明に思えた。（川井正人）

まちづくりに関する質問や提言、交付金事業についての子ども議事を傍聴した。

特にまちづくりに関する質問、提言では、公共図書館の利用、伝統行事、環境、小学校の統廃合、跡地利用、人口減少、街づくり等、多岐にわり、町民の代表としての子ども議員にふさわしい評価のものであった。

質問、提言内容は、保護者、教職員のアドバイスがあったとしても、何よりも各子ども議員が堂々と発言していた。今後の活躍に期待したい。

これに対し、執行部は子ども議員に理解できるように答弁に配慮していたと思われるが、現太子町の議員と同等の答弁も見られ、理解しやすい表現が求められるのではないだろうか。（佐藤正弘）

今年度も子ども議員の皆さんは、町の現状や課題を調べ、課題解決に向け質問をしておりました。それぞれの質問内容を見ると、町の施設の有効利用として、特にプチソフィアについては町中に図書館は出来ないかなどの質問が出された。これについては、私達もいろいろ模索しながら有効利用できないか議論しています。また、環境美化については、太子町がボイ捨て等防止条例を今年から条例化され、今後、いかに町民の皆さんに理解されるか、また、観光客の皆さんに理解をいただけるには多くの看板設置が必要と思われます。更には、伝統文化の継承や、今後の小学校の統合問題、特に、太子町の最重要課題である人口減少問題など、子ども議員の皆さんの質問は、私達議会においても取り組まなければならない問題ばかりだと考えております。また、最後に太子町子ども議会交付金事業については、それぞれの学校の地域の特色を出した発言だと思います。しっかりと実現するよう応援します。（齋藤忠一）

子ども議会では、児童生徒の始点から町の未来を見据えた提言が多く寄せられ、地域の課題や可能性へのするどい洞察が光っていました。

図書館のアクセス改善や環境美化、伝統行事の継承、地域資源の活用など、どの提案も地域への愛着と主体的な関わりが感じられます。

執行部も真摯に向き合っており、対話の場として年々充実していることが窺えます。若い世代の声をまちづくりに反映していく姿勢が、今後の地域力の向上につながることを期待されます。（菊池靖一）

子ども議会とはいえ、町の現状を正しく理解した発言は内容も意義深く、称賛に値する。歴代の子ども議員が発言を積み重ね、学校ごとに内容が修練されたものと推測する。提言も明確なので答弁が詳細になり、持ち時間が足りなくなるほど質疑が充実していた。

発言のなかに18歳選挙権を意識し、政治や選挙への知識習得の必要性を訴える質問があった。この件は議会も協力するべきと考える。「議員と話そう会」を中学生と実施し様々な意見交換が行えたら有意義であろう。地方議会の議員なりて不足という課題を解決するためにも、語り合った中学生が成長し、議員を志す未来が訪れるものと確信したい。（大森勝夫）

議長室を大開放！

～ 議長になった気分で写真撮影 ～

議会終了後、子ども議員の皆さんに議長室を開放しました。

議長室に入れる人はクイズの正解者のみで、事前に出題したクイズをみんな調べてきてくれて見事全員正解！

個性豊かな？！議長・副議長ポーズが撮れました。



ク
イ
ズ
！

◎問題「議会の一般質問って何をする事？」

- A. 町の人アンケートに答えること
- B. 町のことについて、質問したり提案すること
- C. 学校の時間割を決めること

正解は「B」
でした



議員の活動報告します！

5月、6月、7月は主に次のような議員活動を行いました。

※一部抜粋

5月	・議会だより NO.221 号 発行〔広報委員〕 ・議場見学会〔全議員〕 ・全国町村議会議長・副議長研修会〔正副議長〕 ・議会運営委員会及び全員協議会〔議会運営委員・全議員〕 ・常任委員会合同研修会（大阪・関西万博）〔参加議員〕
6月	・第2回定例会〔6月4日から12日まで〕 ・常任委員会合同研修会（漆・楮）〔全議員〕 ・つくば市・大子町幹線道路整備促進協議会〔議長〕 ・大子町防災訓練〔全議員〕 ・子ども議会〔参加議員〕
7月	・第3回臨時会〔7月2日〕 ・定例全員協議会〔全議員〕 ・県北中央町村議会議長会議員研修会〔全議員〕 ・国道461号整備促進協議会総会〔議長〕 ・県北部幹線道路・水戸外環状道路建設促進協議会総会〔議長〕 ・国道118号改修期成会総会〔議長〕 ・市町村負担金審議委員会〔議長〕



町のこと、世の中のことなど、日々のちょっとした出来事や感じたことを議長がゆるっと”つぶやく”コーナーです。真面目な話しだけでなく、ちょっと笑えるひと言もあるかも？！ぜひ、ご一読ください。



猛暑の夏にぼんやり想ふ

齢を重ねるほどに暑さ寒さが辛くなる。猛暑の夏なら熱中症への警戒を怠るわけにはいかない。

「夏は辛いなあ」こぼれる言葉にハッとした。子どものころは夏が大好きだったはず。いつの間に変わったのだろう。夏休みの無い大人になれば誰もが通り過ぎる変化なのか、最高気温を更新する猛暑日がざらりと出現するせいなのか。

猛暑日が続くと、暑さに負けない健康な体が大切と考えようになった。食事はたんぱく質の摂取を意識する。禁酒ができないならアルコール度数をできるだけ低く。ウイスキーやジンの薫りがほのかに残る程度に炭酸水でたっぷり薄めて飲めば、体にも財布にも優しい…。話がいつの間にか脱線してしまった。

連載

つぶやく議長

大森勝夫

健康な体づくりの運動をするのに夕刻は暑い、初夏の朝は夜明けが早く、運動に最適だと知った。

近年は気候も変化し、梅雨時期でも連日梅雨空ということではなく、初夏らしい爽やかな朝が多くなった。夕刻も雨雲に覆われる日が少なく、残照と日の長さを楽しめるように思う。

そこでサマータイムを導入してはどうか。夏季の標準時刻を実際より1時間先に進める。すると日没の時刻が遅くなり午後8時でもまだ薄明るい。仕事を終えてからの自由時間が増えたようで、夕涼みに出かけるなど人々が活動的になり、景気上昇の相乗効果が起きるかもしれない。そんな私の考えは、真夏にゆらめく蜃気楼のような妄想なのだろうか。

ピックアップ

はじめての議場見学会を開催

～町のしくみを知る一步、議会をもっと身近に～

5月11日(日)、大子町議会では、初の『議場見学会』を開催しました。議会の役割や仕組みに興味を持ってもらい、町政への理解と関心を深めていただくことを目的とし、当日は多世代の方々をお迎えしました。

参加者の皆さんは普段入ることのない議場を見学し、議員席や執行部席からの景色を体感してもらいました。議員による案内と説明では、議会の流れや議場内の様子などについて学んでいただきました。(表紙の写真は当日参加者との記念写真です)

模擬議会体験も実施し、参加者が議員役や執行部役、また議長役となってマイクを使って発言したり、議員もこの日は執行部席で答弁をする貴重な？！場面もありました。参加者からは、「見学だけでなく、いろいろな体験ができて参考になり議会を身近に感じることができました」などの感想もいただき、充実した時間となりました。

この見学会をきっかけに、町民の皆さんが大子町の今とこれからの関心を持ち、自らの意見を町政に届けていけるようになることを願っています。大子町議会では、今後もこうした機会を継続し、“開かれた議会”の実現を目指して取り組んでまいります。



議場設備の説明



議場内をご案内



模擬議会前のレクチャー



議長体験



発言者体験

ピックアップ 万博で見つけた未来のヒント

大阪・関西万博を視察

～アロマ体験を通じて大子町の魅力を全国へ発信！～

令和7年5月29日、大子町議会議員は大阪・関西万博の「地方創生 SDGs フェス」へ視察研修を兼ねて参加し、最先端の取り組みに触れるとともに、大子町のブースにて町の魅力発信に協力しました。

万博のメインテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」は、これからのまちづくりや地域政策にとって有益なもので、会場内ではAI・再生可能エネルギー・食と健康・地域循環といった多様な展示が展開されていました。環境・産業・文化など幅広い分野における国内外の先進事例を視察し、地域資源の活用や持続可能な社会づくりに対する理解を深めました。

また、大子町が出展したSDGs展示ブースでは、町の特産である八溝杉の間伐材を活用した「アロマディッシュ制作体験」が開催され、議員も運営スタッフの一員として来場者対応を行いました。杉の香りに癒されながら、町外からの参加者に大子町の林業資源や自然環境の魅力を伝えるひとときは、改めて地域の価値を見つめ直す大切な機会となりました。

視察と現地交流を通じて得られた学びや気づきは、今後の議会活動やまちづくりの検討に活かしていく予定です。地域の強みを再確認するとともに、持続可能で魅力ある大子町の実現に向けて、より一層努力してまいります。



”持続可能”を体感して～議員のひと言レポート～

現地での体験から得た気づきや学びについて、参加した議員の声をお届けします。

開催会場は、大阪湾にある夢州という人口島で、会場へ行くと大きな屋根に目をみはる。私達が入ったのは、万博会場にあるEXPO メッセという施設で、北海道から沖縄までの51自治体が集まり、茨城県から唯一大子町が出展した。大子町のブースでは、大子町におけるSDGsの取り組みとして、大子産材である八溝杉の間伐材を活用したワークショップを体験した。それぞれの体験により木材の持つ素晴らしい特性などを感じとったのではないかなと思う。私達はそれらをお手伝いしながら、来場者へ大子町の魅力発信などをさせていた。延べ5日間に来場者は700人超の方々が体験されたとの事、これを機に大子町の林業を国内外にPRできたのではないかなと思われる。

齋藤忠一

2025年日本国際博覧会（EXPO2025 大阪・関西万博）において、日本全国より地方創生SDGsに取り組む地方自治体が一堂に会する展示イベント「地方創生SDGsフェス」が開催された。単独出展（32自治体）共同出展（19自治体）合計51自治体が一堂に会していることで、短時間の滞在であったが、非常に効率よくそれぞれが誇る地方創生の取組を軸に、各自治体の特色を体験・体感することができた。また、大子町の出展ブースのスタッフとして町の職員とともに、来場された方々に自然豊かな大子町をアピールすることもできた。そして、他の自治体と比較して特筆すべきは、木の香りを通して、大子町を心に刻んでもらう大子町の試みであった。

川井正人

大子町が出展した「地方創生SDGsフェス」は自治体がSDGsへ取り組む事業広報イベントであり観光広報は認めない、という制約があった。与えられる期間も5日間のみである。

そこで大子町は「森林」をテーマに、木材の輪切りコースター表面にアロマオイルを添付する体験コーナーを開設。興味を示した来場者に、大子町の魅力を語りで伝える手法を展開した。

ヒノキの爽やかな香りに足を止める来場者は、誰もが森林へ良いイメージを共有している。その期待に合致する環境と景観をそなえた森林へと整備が進めば、山々が魅力的な資産として輝きだすかもしれない。そんな可能性を垣間見た大阪万博であった。

大森勝夫

到着して最初に感じたのは万博会場の規模の大きさ、そして訪れている人の年齢の幅広さと国籍の多様性だった。そして、とても広い会場内で大子町のブースにどれだけの人に来てくれるのかと心配したが、桃太郎電鉄とのコラボレーションにより、人が動き各ブースを訪れる仕組みが作られていた。大子町ブースではアロマで木の香りが漂っており、視覚、聴覚に加えて嗅覚も刺激される工夫がなされていた。

大子町を知らない来場者はたくさんおり、袋田の滝と大子町が結びついていない方もいた。年齢も地域も幅広い層の人に大子町をアピールするまたとない好機であり、来場された方に声かけをさせていただいた。多くの人に大子町を知って関心を持ってもらえたなら嬉しい。

福田祥江



5月28日～6月1日、大阪・関西万博内で地方創生SDGsフェスが開催され、大子町は茨城県唯一の出展。八溝杉を活用したアロマディッシュづくり体験は、森林資源の循環と地域の魅力をPRする機会となるため、議員も5月29日に現地入りし、視察と町のPR活動を行った。

八溝杉の間伐材やアロマオイルといった大子町ならではの資源が、国内外の来場者に好評だったことは、地域の魅力を再認識する機会となった。「切って、使って、植えて、育てる」という循環型林業の理念は、持続可能な地域経営のモデルとなり、学校教育や地域活動を通じて、次世代にこの価値観を伝えることが大事であることを確認する研修となった。

菊池靖一

EXPO2025大阪・関西万博の大子町ブース「地域産木材で魅力を高めるまち」は、大子町の大自然を放映し、林業に親しんで頂くワークショップとして間伐材のアロマディッシュ作りを体験し、八溝杉アロマオイルを垂らし持ち帰ってもらう企画でした。多くの方が立ち止まり、周りのブースの方からも「いい香りですね」と声をかけられ好評でした。スマート林業の町を感じられるワークショップは良かったです。SDGsの取り組みは、個人としてできることから始めることが大切であり、町は2050年までにゼロカーボンシティ宣言を行い、森林資源を活用した地域活性化や、地域課題の解決に向けた取り組みも行われています。

根本厚子

メディアでも大きく取り上げられていた大阪関西万博が開催され、大子町でも出店し大きな賑わいを見せていた。周辺自治体を見ると様々な方法で集客を図っていた。大子町はお客様に大子の「香り」をお届けすべく、「木」と「アロマオイル」を使った体験型のワークショップを行った。また、開催前にも賛否両論となっていた、会場内全てのキャッシュレス決済化であるが、老若男女問わず問題なく使用している印象を受けた。昨今のデジタル社会において、今後さらに新しい何かが出てくる可能性も十分にあり得るが、その事象に都会・地方関係なく対応する必要性が大きいと感じた。「地方だから遅れている」とは言わせない！自分にできることを最大限に生かし、町民の方々が少しでも毎日が楽しく生活できるよう努力しなければならないと思う研修であった。

高村和成

大阪・関西万博で大子町は「地域産木材で魅力を高めるまち」をテーマに大子町の地域活性の取り組みを紹介・出展しており、「八溝杉」を使ったアロマディッシュ作りの体験コーナーは、良い香りで来場者を楽しませていた。大子町の8割をしめる森林は、人々の暮らしに大きな恵みを与えてくれている。この森林と人々が共に生きる取り組みを継続させていくことは、とても重要で大切なことと感じる。大阪・関西万博での大子町の出展は町の魅力を発信できる意義ある機会であり、また、私自身貴重な経験となる視察研修であったと感じている。この視察研修で得たものをこれからの活動にいかしていきたい。

介川秀男

会場のシンボルある「大屋根リング」はスギ、ヒノキ（国産7割）の集成材が使用されており、高さ20m、全周2kmに及び力強く木材が会場全体を包み込んでいる光景は、森林資源の循環利用の大切さの再確認と日本の林業振興、木材利用の推進に繋がる取組を作り上げている。多くの来場者も感じ捉えたのではないのでしょうか。地場産業である林業の成長産業化の実現に向けての八溝産材PRコーナーでは関心を持たれた方々と賑わった。バーチャル空間（仮想）体験は町の魅力を発信する持続可能なまちづくりのための未来が一望できると感じた。他自治体ブースでは、上質な森林づくりを町主体で管理を行い、また脱炭素先行地域に選定された町では移住検討者に「生活体験モニター」の実施、名立たるお茶の産地では抹茶ブームの追い風を図るなど地方創生における独自の発想の展開を図っていると感じた。

飯村 剛

地方自治体が誇る地域での取組について「楽しく、遊びながら、より良い未来を感じることができる」催しとなっている。会場内で実施されるこの期間限りの地方創生SDGsと大子町が誇る特色を体験・体感を通して来場者に紹介PRすることができたことは、大子町にとって大変有意義だったと思う。もう少し期間があったら良かったと思うが、大子の特性を紹介できたことは非常に素晴らしい。今後は、これらの特性を取り入れた町の本気度が試される。

須藤 明



大子町ブースでアロマ体験を案内

あん議^{と き}会の質問は今？！

議会で質問してきた事業が、その後どのように行われているかお知らせするコーナーです。
今回は『AⅠ乗合タクシー「たくまる」予約システムの簡素化』についてです。令和6年第2回定例会の一般質問で取り上げ、その後の展開についてお伝えします。

【あん議^{と き}会の質問】

議員：現在の登録・予約方法など使い方について、アプリ化やパスワードの簡略などもう少し簡素化できないか。



【その時の回答】

執行部：今年度中にシステムのバージョンアップを予定している。パスワードの簡素化・アプリの導入に向け検討を行う。



令和6年10月1日から、予約システムが大きく改善！

主な変更点

- ・2段階認証（SMS認証）の廃止
- ・パスワードの条件緩和（12文字→6文字以上、文字種制限なし）
- ・予約の受付期間が「前日まで」→「3日前から」に拡大
- ・到着時間からの予約もOKに！

旧システム画面



新システム画面

”もうちょっと便利に”
の声を議会がちゃんと
届けてくれたんだね！



令和7年 第2回定例会

町政に **ここが聞きたい!これを言いたい!**

8人の議員が一般質問

ページ	質問者	質問内容
P.16	介川 秀男 議員	・鳥などの糞被害の町の対応は ・学習用端末機器の更新時期は ・学校給食への物価高騰の影響は
P.17	菊池 靖一 議員	・「やみぞ」駐車場の区画線整備を ・ポナイの森マウンテンバイクコースの計画は ・農業機械共同利用支援事業補助金の詳細は
P.18	佐藤 正弘 議員	・高齢世帯等へのエアコン設置費用の助成制度は ・中学校の跡地利用と海外語学研修は ・東海第2原発への町の対応と避難者の受け入れは ・町内の宿泊施設について
P.19	福田 祥江 議員	・補聴器購入時の補助について町の考えは ・空き家バンク相談センターの充実は ・少子化対策について問う
P.20	須藤 明 議員	・八溝川湧水群の環境保全対策は ・ランドセル購入時に助成金の支援は
P.21	高村 和成 議員	・防災対応型観光交流施設の集客方法は ・カーシェアリング・A I 乗合タクシーの利用と改善 ・デジタル機器の普及対策は
P.22	根本 厚子 議員	・養護老人ホームへの町の対応は ・介護用品おむつ事業の上限減額の理由は ・大子町の観光振興について
P.23	齋藤 忠一 議員	・物価高騰に対する支援策は ・緊急時、A E Dの備えは ・地籍調査の進捗は

一般質問とは・・・



定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進捗よく状況、将来における施策方針等をたずねます。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をたずねることはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をすることも、議員の重要な権限です。

おうちで議会を視聴しよう！

大子町では議会中継を行っていますので、スマートフォンなどを利用して自宅で議会の様子を見ることができます。定例会や臨時会の様子を生中継するとともに、録画配信も行っていますので、是非ご利用ください。

※一般質問者ページのQRコードから、質問者を検索することもできます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから



問 鳥などの糞被害の町の対応は

答 相談があった場合は改善策を提案する



介川秀男 議員

【介川】久慈川沿い地域でアオサギが年々増加しており駐車中の車へのふん被害について相談を受けている。このような鳥のふん被害についてこれまでに町は相談を受けたことがあるのか、また、相談があった場合にはどのような対応を取っているのか伺う。

【生活環境課長】観光商工課での企業訪問の場でふん被害に関する相談があり、その他に道の駅奥久慈たいごの職員の車を駐車する区域で鳥のふんによる影響が時おり確認されている。また、相談があった場合には、

研究機関等が公表している事例などから情報を収集し、有効であると考えられる改善策を提案していきたい。

【介川】近年では鳥が近づかないように鳥がいやがる高周波を出して近づかなくする機器が出てきている。空港では鳥と航空機との衝突防止に設置して効果もあるようである。ただこの機器は高額であり機器購入に對しての助成・レンタル等の制度があれば購入を検討したいとの声もある。この助成・レンタルについて町の考えを伺う。

【生活環境課長】この機器についてはまだ試験的運用段階であり、不明な点もあることから購入費の助成・購入した上での貸し出し等を考えてはいない。鳥害対策・防鳥機器については引き続き情報収

集をしていく。

学習用端末機器の更新時期は

【介川】町の小中学生が使用している学習用端末機器であるが、全国的にも更新の時期でもある。町のこの端末機器の更新予定時期を伺う。

【教育委員会事務局長】現在メンテナンスを行いながら、大きな問題がなく端末機器が使用できているため、



学習用端末機器

更新予定時期については令和9年度を設定している。

【介川】町内の中学生が端末機器をどの程度活用しているのか伺う。

【教育委員会事務局長】大

子中学校の状況では主要5教科で常に使用している。週あたりの使用時間では、各学年ともに週に15時間から28時間の使用となっている。なお、大子町はほかの自治体よりも早く端末機器を導入したことによりICT教育が充実した自治体でもある。今後は更なる学びの充実を目指し端末機器の活用を進めていきたい。

学校給食への物価高騰の影響は

【介川】現在物価高騰状況が続いている。物価高騰の中でも米価格の高騰により学校給食に影響があるのか伺う。

【教育委員会事務局長】学校給食用精米については、町が常陸農業協同組合と契約をして、大子町産コシヒカリ精米を今年10月末分まで確保している。また、

米より安価で栄養価が高い麦を混ぜた麦ごはんの回数を増やしたりするなど、献立に大きな影響が出ないよう工夫をしており献立に大きな影響は出ていない。

【介川】献立の米飯・パン・麺類で、米飯が減らされることなくこれまでと変わりはしないのか伺う。

【教育委員会事務局長】米飯・パン・麺類などの主食については、曜日ごとに主食を決め年間予定表を作成しており、月曜日・火曜日・水曜日が米飯、木曜日がパン、金曜日を麺類または米飯としており、今年度の主食についても昨年同様に計画・提供しており、現在のところ変更はしていない。



学校給食

問 「やみぞ」 駐車場の区画線整備を

答 他の施設修繕を含めた中で考える



菊池靖一 議員

ポナイの森マウンテン バイクコースの計画は
【菊池】 令和5年度にポナイの森を活用したマウンテンバイクコースの整備が計画され基本構想策定の予算が計上されたが、その後計画が止まっている。策定された基本構想とはどのようなものか。

【観光商工課長】 全国でもコース整備やコーディネートの実績を持つプロのマウンテンバイクライダーを招聘して策定した。構想内容は、①ポナイの森の地形を生かした周回コース②ジャンプをするためのジャンプラインコース③凹凸のこぶが連続した波状のパントラックコースを整備し、お子様や初心者、愛好者でも十分楽しめるコースレイアウトで計画されている。また、コース以外の敷地には、駐車場や簡易的な事務所の設置も予定している。

【菊池】 出来上がった後の施設の管理はどう考えているか。

【観光商工課長】 基本構想がまとまると、設計や工事などに取掛かかっていくというのが行政の流れだが、それが事業の成功につながるケースがあるので、現在は策定



区画線が消えているやみぞの駐車場

した基本構想を実現するべく、基本構想のコンセプトに沿ったマウンテンバイクコースの運営が可能な事業者を探している。事業者の見通しが立ち、事業の実現性の方向づけがされたら整備推進をしていく。

農業機械共同利用支援事業補助金の詳細は

【菊池】 今定例会に出された補正予算の中に、農地の遊休荒廃化を防止し、小規模農家等の事業継続を支援するための共同

で購入する農機具代の一部を補助する「農業機械共同利用支援事業補助金」がある。応募要件の詳細を伺う。

【農林課長】 町内に住所を有し、かつ町内で農業を営む認定農業者を含まない3戸以上の主食用米作付農家で構成された農業生

産者グループ①販売を目的としてグループ全体で概ね50a以上耕作していること、②事業実施年度の翌々年度までに収穫量の2分の1以上の販売計画を有していること、③規約を定めていること、④国・県などから類似の補助金を受けていないこと、⑤町税を完納していることです。兼業農家や小規模農家へ支援を行うことにより、営農の継続及び耕作放棄地対策を進めることに加え、ふるさと納税返礼品の充実や数量確保につなげたい。



農機具購入をサポートする補助制度

問 高齢世帯等へのエアコン設置費用の助成制度は

答 設置費用の助成は考えていない



佐藤正弘 議員

用案内や熱中症予防に関する情報提供や注意喚起を地域包括センター職員を中心に積極的に行っていく。

【佐藤】クーリングシエルトは、町の中心部では、公共施設、商業施設が指定されているが、地域では、コミュニティセンターが主体となっていると思うが、それでいいのか。

【福祉課長】コミュニティセンターはクーリングシエルトとして指定していない。地域には、郵便局があり、クーリングシエルトとして協力をお願いしている。

【佐藤】地域によっては、郵便局までかなりの距離がある。その対応は。

【町長】冷房のある郵便局を利用できるのであり、自宅で涼をとつても良い。また、先ほど地域包括支援センターの職員が個別に問題へ対応すると答弁している。

【福祉課長】高齢者世帯へのエアコン設置費用の助成について、県北、県央、県西を中心に20自治体に確認し、5自治体が実施し、15自治体が実施していない。町としては、エアコン設置費用の助成は考えていない。クーリングシエルトの利

中学校の跡地利用と 海外語学研修は

【佐藤】中学校統合で廃校になった、南、生瀬、西中学校の跡地活用はどの様になっているのか。

【まちづくり課長】昨年度から利活用の検討、売買や賃借を希望する事業者の募集を行っている。その結果、大子西中学校については、2件、南中学校については、



廃校の利活用が重要な課題（西中学校）

2件、生瀬中学校については、1件申し込みがあり、クーリング調査や内覧等を実施したところである。

【佐藤】昨年、議会、教育委員会がシンガポール視察を行っているが、中学生の修学旅行は、いつ実施するのか、費用、町の負担は。

【教育委員会事務局長】中学生の海外語学研修は、令和8年5月31日から6月4日までの5日間を予定している。第2学年で実施しているブリティッシュヒルズ語学研修が3万円、第3学年の海外語学研修の修学旅行の保護者負担は合わせて12万円と設定している。これ以外の経費は町で負担する予定である。教職員も含め95名程度で、3,800万円になる。

東海第2原発への町の 対応と避難者の受け入れは

【佐藤】運転開始から、47年となる東海第2原発は、再稼働のための対策工事が進められている。東海第2原発の再稼働に対しての町

の考えは。

【総務課長】再稼働については、県と周辺自治体の同意、事前了解が必要となっており、再稼働の見通しはいまだに立っていない状況である。町民の安全性を最優先と捉え、防災への取り組みに努めていく。

【佐藤】町は再稼働の前提になる避難計画は完了し、常陸太田の市民を受け入れるとされているが、どこに受け入れを検討しているのか。

【総務課長】常陸太田市との協定を締結し、清流高校、中学校、各小学校、黒沢コミュニティセンターを指定している。

その他の質問 町内の宿泊施設について



廃炉が求められている老朽化した東海第2原発

問 補聴器購入時の補助について町の考えは

答 前向きに検討していく



福田祥江 議員

【福祉課長】 早ければ令和8年度の当初予算に計上したい。

空き家バンク相談センターの充実は

【福田】 大子町は第3次大子町総合戦略で施策横断重点プロジェクトとして、商店街及び防災道の駅、空き家バンク相談セ

ンターを軸とした交流と定住への流れの創出、促進をあげている。移住施策は競争社会となつていく。建設中の観光交流施設内に相談センター業務ができないか。

【まちづくり課長】 観光交流施設への移転案については、当該施設の立地機能面において効率かつ効果的な運営をできるか、担当課や運営団体の協議の中で選択肢のひとつとして検討していきたい。

【福田】 ホームページは必要な情報にたどり着きにくく、移住施策の本質が見えないが改善は。

【まちづくり課長】 本年度中に移住に特化したポータルサイトを新設したい。また、紙媒体の移住ガイドブックの内容を更新して電子ブック化し掲載していく。



生活の質を向上させる補聴器

少子化対策について問う

【福田】 大子町の未婚率は、高齢者を除く全ての年代で県内平均より高い。女性が結婚してこの町に住みたい、この町で子育てしたいと思える女性に選ばれた町づくりが重要であると考えます。未婚率改善のための婚活施策の現状は。

【まちづくり課長】 婚活支援ネットワーク運営では、女性登録者が増加せず、結婚相談会への来場者数が減少している。また、アドバイザーの退任という課題がある。

【福田】 常陸大宮市ではバーベキューイベント、滋賀県はボートレース場でマッチングを行っていた。一緒に何かを行う体験型イベントはいかがか。

【まちづくり課長】 おしゃべりカフェや占い、ネイルを行っている事例もあり、新たな視点での事業展開が必要であると感じて

いる。

【福田】 婚活期から子育て期に使用できる補助金、支援施策を総合的に案内するものがあると良いと思うが。

【まちづくり課長】 結婚支援や子育て施策の情報発信もタウンプロモーションの一環として、ライフステージに応じたサービスや支援を簡潔かつ視覚的に分かりやすく、デジタルの資料も含めて検討を開始したい。

ベストパートナー助成金

大子町では、「いばうき出会いサポートセンター*」入会登録料を全額(11,000円)助成します。

*結婚を希望する独身の方の出会いの場づくりを目的として、茨城県と(一社)茨城県労働者福祉協議会が共同で設立しました。会員制によるパートナー探し支援等さまざまな出会いの場を提供しています。

サポートセンターホームページ
http://www.ibccnet.com



助成対象者

町内に住所を有し、結婚をしていない者(婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者その他婚姻の予約者を除く。)

少子化対策は婚活支援から

問 八溝川湧水群の環境保全対策は

【答】 一步でも前に出られるよう進めていく



須藤 明 議員

【須藤】 八溝山観光が高ま
つていく中で、八溝山には
どのくらいの観光客が訪れ
ているのか。

【観光商工課長】 八溝山展
望台管理が無対応のため
現在入場者の把握はできて
いない。

【須藤】 赤外線とかで通過



茨城県最高峰に佇む
八溝山展望台

することによってカウント
する方法で人数の調査、台
数の調査を考えてもよいと
思うが考えは。

【観光商工課長】 県が進め
る常陸国ロングトレイルが八
溝山地域に入ってくる。県
と連絡調整しながら、そう
いった点も考えて研究したい。

【須藤】 八溝山八合目付近に
は、昭和60年に環境庁の名
水百選の一つに選定された八
溝山湧水群がある。この湧
水群には八溝五水があり光
園公が命名したと伝えられ
ている。百選に選定されてい
る湧水群の保全を含めた取
組、管理について伺う。

【観光商工課長】

地元の八溝保勝会、
一般社団法人大子
町観光協会ととも
に秋の美化キャン
ペーンの際、五水
清掃、吐水口など
の清掃を行っている。
同会員の方々

により、不定期に清掃など
を実施していただいている。
【須藤】 定期的な清掃とい
うものを仕組みの中につくれ
ないのか。日本の名水に選ば
れている名水ということを選
ばなければ、仕組みをつくっ
てもよいと思うがいかがか。

【観光商工課長】 生活環境

課の方も担当になってくる
かと思う。横の連携、関係
団体との連携をして、一歩
でも前に出られるよう進め
ていきたい。

【須藤】 八溝山には多くの

自然資源や観光施設がある。
その一つとして八溝山展望
台がある。昭和61年9月に
3階建てのお城型展望台と
して建設された。建設から
38年、傷みが激しい状況に
ある。整備が必要だと思
うが町の考えは。

【観光商工課長】 現時点に

おいて大規模な改修の予定
はない。他の観光施設との
バランスを考慮した上で必要

な対策を実施していきたい。

ランドセル購入時に助成金の支援は

【須藤】 過去5年間におけ
る出生者数について伺う。

【健康こども政策課長】 令
和2年度43名、令和3年度
42名、令和4年度38名、令
和5年度23名、令和6年度
28名である。

【須藤】 40人台で令和3年
度まで流れてきて、5年度
6年度で20人台になったわ
けだが、この状況をどのよ
うに感じているか。

【健康こども政策課長】 子
どもが減っていくことは町
の存続にも関わること。大
変な状況、危機的状況だと
感じている。

【須藤】 現在の支援策、ど
のような支援策が講じられ
ているのか。

【健康こども政策

課長】 給食費無
料、保育料及び
幼稚園授業料無
料、新生児すくす
く祝い金、子育て
祝い金、高校まで
医療費無料、妊産
婦検診無料、新生

児聴覚検査無料、乳児検診
3回無料、不妊治療費及び
不育治療費助成、無痛分娩
助成など、妊婦期から子育て
世代に対する切れ目ない
相談支援を行っている。

【須藤】 安心して子供を産
み育てられる環境づくりを
一層進めて行くことは、必
要なことである。お子さん
の入学時には多額の経済的
な負担があり、保護者の方
が苦慮している。ランドセ
ル購入時に助成金の支援策
は考えられないか伺う。

【健康こども政策課長】 制
度の導入には他の子育て支
援策との整合性や財政的影
響を十分精査した上で、制
度設計を慎重に進める必要
があると考えている。今後
他の自治体の実施状況や制
度の効果、運用上の課題等
を調査研究をしていく。



ランドセル購入に助成金を！

問 防災対応型観光交流施設の集客方法は

【答】テナントを活かし隣接県からの集客を視野にいれている



高村和成 議員

【観光商工課長】 出店予定となるテナントを中心に県内以外にも隣接している、栃木県、福島県からの集客を視野に入れて進める。また、近隣施設や商店街との連携、周遊を促して町中心部の魅力を向上させていく。

【高村】 今現在、「防災対応型観光交流施設」、隣には「防災スクウェア」の建設計画が進んでいる。この施設により町内の景色が大きく変わろうとしている。また、テナントやフードコートも展開されるため、新たな賑わいが創出されると考えている。しかし、この賑わいを継続させるにはやはり集客が重要になると思うが、これらの対策はどうするのか。



建設予定の防災道の駅イメージ図

カーシェアリング・AI乗合タクシーの利用と改善

【高村】 町内で運行されているAI乗合タクシーたくさんあるが、運行は好調で徐々に予約方法などの簡素化も進んでいる。しかし、システムが新しくなり、これまで利用できていた「乗降履歴」からの予約機能が無くなっている。以前より使いにくくなるのは改善とは言えないが、これらの対策はどうするのか。

【まちづくり課長】 今現在の予約システムは利用料が安価な代わりに希望する機能は付加できない状態である。乗降履歴の機能追加については随時メーカーに要



町内のカーシェアリング

望をしていく。

【高村】 カーシェアリングに関して、今現在駅前にも2台設置されているが、利用数などほどの程度か。

【まちづくり課長】 利用件数は令和6年度で延べ200件である。また、利用目的について、観光での目的以外に、駅からの帰省手段として利用しているとも聞いている。

【高村】 町内を巡る手段は、大子町には多くあるが、この予約方法を一元化する対策は考えているか。

【まちづくり課長】 統合するのは今のところ難しい状況ではあるが、可能な範囲で使い易く改善していきたい。

デジタル機器の普及対策は

【高村】 昨今、デジタルツールを活用することは生活する中で必須となりつつある。町でもNTTドコモによる出張サービスを行っているが、今後利用方法に関する講習会を開催するなど拡充を考えているか。

【まちづくり課長】 引き続きNTTドコモの出張サービスは要請していく。また、近隣市町村の高齢者向け教室を開催している事例などを調べ町独自の開催も模索していきたい。



問 養護老人ホームへの町の対応は

答 措置費等、国の通達に基づき対応



根本厚子 議員

【根本】 大子町老人福祉施設について本人も家族も知っておく必要がある。施設によっては、入居条件が設けられているため事前に施設の情報を確認し家族と一緒に選ぶことが大切である。大子町老人福祉施設の目的や種類、特徴などの内容を伺う。

【福祉課長】 特別養護老人ホームは、在宅での生活が困難な要介護3以上の入所者に対し、生活全般の介護を提供する施設です。養護老人ホームは、環境上や経済的理由により自宅での生活が困難な高齢者が、自治体の措置により入所する施設です。老人短期入所施設

は、一時的に介護が必要となった高齢者が特別養護老人ホームや医療機関内の施設に短期入所することにより、在宅の介護者の負担軽減を図る目的とした施設です。老人デイサービスセンターは、介護が必要な在宅の高齢者が自宅から日帰りで通い、介護やリハビリ、レクリエーションなどのサービスの提供を受けることができる施設です。

【根本】 養護老人ホームでは要支援、要介護の方の施設入所はできるのかと、入所した場合、入所しながら介護保険サービスを受けられるのか伺う。

【福祉課長】 自立し要支援である場合は入所している方もおりますが、介護度が上がった方に対しては、介護度に応じた施設入所の変更もあります。また、施設の中で他のサービスを受けることはできます。例えば、デイ

サービスなどです。【根本】 町内の施設は、ショートステイができると聞いている。では養護老人ホームに入所する場合は、基本的には町の措置になるが、それ以外に方法はあるのか伺う。

【福祉課長】 養護老人ホームの契約入所はあるが、施設が収容の余力がある場合となります。

【根本】 町が自宅で暮らせないと判断した高齢者を受け入れる養護老人ホームの措置費について伺う。

【福祉課長】 令和7年度当初予算額は、1億4,850万円を計上し令和6年と比較すると2,850万円の増額です。町は、国から

養護老人ホーム活用ハンドブック



大子町福祉について①

の通達に基づく処遇改善加算を随時行い、社会経済情勢や地域の実情を勘案し、適切に予算に反映している。【根本】 措置費の地方交付税一般財源化により町の負担は100%となるが今後、町内にある養護老人ホームへの町の対応を伺う。

介護用品おむつ事業の上限減額理由は

【根本】 介護用品おむつ事業は、日常生活を支える一方で介護者負担の軽減に対する役割は大きいと考えるが、対象者について伺う。

【福祉課長】 大子町に住民登録があり、介護保険施設に入所していない方で要支援2以上の認定を受けている方、障害者手帳の交付を受けている方、指定難病医療受給証をお持ちの方が対象で、条件以外に前立腺がん等の疾病により介護用品が必要な方は、大子町社会福祉協議会に相談していただきたい。介護用品は原則宅配のみだが、入院中の介護

用品代は購入費助成の対象となる。

【根本】 介護用品おむつ事業の上限額について伺う。

【福祉課長】 介護用品の上限額については、要介護5に該当する方、身体障害者1級に該当する方、指定難病医療受給者証をお持ちの方、障害者支援区分6に該当する方療育手帳マルAに該当する方は月額8,000円を上限に助成し、それ以外を対象者は月額4,000円を上限に助成している。

【根本】 令和6年度以降、対象者や利用方法が変更され、上限額が大幅に下げられた理由を伺う。

【町長】 社会福祉協議会の事業の1割強がおむつの配達事業であり、この事業が長く続くように決断したので、おむつの利用方法についても工夫をしていただきたい。

その他の質問

介護用品カタログ



大子町福祉について②

問 物価高騰に対する支援策は

答 交付金の追加交付に伴い早急に対応する



齋藤忠一 議員

なお、補足給付については、引き続き今年度も実施している。

【齋藤】町では、物価高騰対策の一環として、子育て世帯や高齢者世帯、また、非課税世帯に支援をしているが、中間層を含めた支援等は考えられるか。

続いて町独自の支援については、まず、子育て世帯に対する支援として、子供1人当たり1万円の給付を実施した。水道基本料金についても今年2月3月の水道料金徴収分のうち2か月分の基本料金を減免した。一世帯当たり3,520円の負担軽減が図られたものと理解している。また、先月、国では重点支援地方交付金の追加交付が決定されたことから、町ではこの国からの交付金に上乗せする方向で、中間層を含めた支援を早急に対応するよう進めている。



緊急時、AEDの備えは

【齋藤】心停止など緊急時に、電気ショックにより救命率を大幅に向上するAEDについて、大子町の公的施設にはほぼ設置しているが、休みとか休館日は使用できない。使用が可能な救えない命も救えることとなり、町ではこれらについてどのように認識しているか。



AEDの設置施設

【消防長】休日は閉館となっており、AEDは屋内に設置しているため閉館日に持ち出すことができない状況は事実です。しかしながら、現在、いばらき指令センターでは地図表示にAEDの設置場所を登録表示しており、災害要請地点が決定すると、半径100メートル以内にAEDのマークが確認できた場合、救急隊到着まで総合的に判断し救急現場に居合わせた人がいる場合、AEDを取りにくくよう指導する方策がとられている。救える命を救うためにも、AEDによる電気ショックは有効でありますが、絶え間ない有効な心臓マッサージが重要と認識しておりまして、今後引き続き救命講習会等、普及啓発に努めていきたい。

は 地籍調査の進ちょく

【齋藤】町では、毎年、予算に合わせて地籍調査が行わ

れている。昭和55年から始まり、国有林を除き266.5kmのうち、約106kmの40%が終わっている。残り106kmを単純計算すると70年かかる。今後、測量技術も進歩すると思われるが、町の考えを伺う。

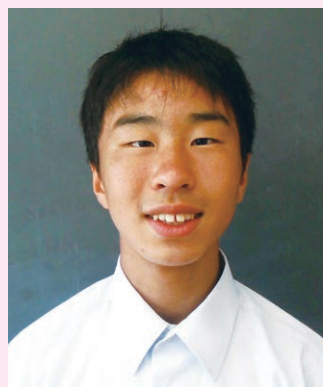
【農林課長】昨年度より県内では、初めてとなる空中写真などを活用したり、リモートセンシング技術による地籍調査を導入して、現地立ち合いに係る土地所有者の負担軽減、測量に係る手間やコスト削減をはかり、調査の効率化に向けた取り組みを進めている。



進められている地籍調査

— 大子つ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



大子中学校 3 年

さかき こ た ろ う
榊 虎太朗さん

私の将来の夢は警察官になることです。警察官になりたいと思ったきっかけは「カッコいい」からです。ですが、ただ「カッコいい」というわけではなく、警察官は正義感が強くヒーローのような存在だからカッコいいのです。私が警察官になったら町のためにいろんな貢献をしたいと思っています。犯罪者をつかまえたり、小学生の登校を見守ったり、町の人の

とコミュニケーションを取りながら健康状態を確認したりできる警察官になりたいです。そして、警察官になるために、今からでもできる限りのことをしたいと思っています。例えば、体力や筋力だけでなく、私は少し目が悪いのでこれ以上悪くしないなど気をつけていきたいと思っています。夢に向かって、これからも努力を重ねていきたいです。

FM放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。



9月定例会開催予定

9月定例会開催予定

▽ 9月3日（水）開 会

▽ 4日（木）自宅審議

▽ 7日（日） ”

▽ 8日（月）一般質問

▽ 9日（火） ”

▽ 10日（水）

予算・決算委員会

▽ 11日（木） ”

▽ 12日（金）逐条審議

閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

サポートキャラクター紹介

議会のことを、もっと「わかりやすく」「身近に」感じてもらうために登場しました議会だより広報サポートキャラクターの大子倫子（りんこ）です。「りんちゃん」とか「りんこちゃん」って呼んでもらえると嬉しいですよ。

これから紙面にちよこちよこ登場するのでよろしくお願ひします！



大子町議会広報委員会

委員長 川井 正人
副委員長 高村 和成
委員 高村 秀男
委員 川村 厚子
委員 根本 厚子
委員 飯村 剛
委員 大森 勝夫
委員 須藤 明

あとがき

おかげさまで「だいで議会だより」は、今号で通算No.222号、そして発行から55年目を迎えました。長きにわたりご愛読いただき、支えてくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

さて、これまでも町では、町民の生活の向上、安心安全な社会の実現に向け、時の様々な問題に直面してきましたが、現在の喫緊の課題である少子高齢化や環境問題、地域経済の活性化に向けた取組は最重要な課題であり、地方創生の実現に向けていくには、地域の特性を活かし住民と連携し、かつ「デジタル技術」を活用したまちづくりが求められています。

私たち議会は、町民との定期的な意見交換会など開催し、対話を深め、共に考え、地域のニーズを的確に捉えた政策提言を行い持続可能なまちづくりを構築する取組を加速させてまいります。

（飯村 剛）